

特集

学校運動部活動と連携するクラブ

しわひめスポーツクラブ ＜宮城県栗原市＞

運動部活動については、少子化による生徒の減少や、顧問となる教師の長時間労働につながるるとともに、競技経験のない教師にとって専門的な指導は多大な負担であり、生徒のニーズに必ずしも応えられていない等の課題があります。

そのため、平成30年3月にスポーツ庁において「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が策定されました。また、今後の部活動改革の第一歩として、休日の部活動の段階的な地域移行が示されるなど、持続可能な部活動と教師の負担軽減の実現が期待されています。

そこで今回は、学校運動部活動と連携するクラブの取り組みを紹介します。

1 クラブ概要

スポーツ少年団 8団体、中学校部活動 8団体などが団体会員

栗原市志波姫地区(旧志波姫町)は、小学校1校、中学校1校が行政施設を中心とした1キロ圏内にあり比較的學校と地域が連携しやすい環境にあります。設立当時はスポーツが盛んな町でありながら、社会体育施設は1つしかなく、社会体育事業も学校体育施設を使用するような状況でした。

そのような状況の中、中学校外部指導者や親の会、市町村合併前の志波姫町体育協会、スポーツ少年団を中心に、平成16年3月にクラブを設立しました。

令和2年9月末の会員数は中学生以下204名、高校生以上270名の474名です(団体会員:スポーツ少年団8団体、中学校部活動8団体、一般14団体、ファミリー14家族、個人会員:18名)。

主な活動としては、①楽しみながら色々なスポーツに親しめるスポーツセミナー、②定期的に活動し大会や発表会にも参加し、セミナーの内容をより一層深められるスポーツ教室、③クラブ主催の大会と、志波姫地区社会体育事業の受託をしている各種スポーツ大会、④会員同士の交流の場としてレクリエーション的なイベントや体験会を実施しています。

活動施設は、志波姫体育センター、志波姫公民館、志波姫中学校体育施設(体育館・武道館・校庭・テニスコート)、志波姫小学校体育施設(体育館・校庭)です。その他、クラブハウスのある志波姫体育センターは指定管理を行っております。

2

志波姫中学校と連携 外部指導者が部活とクラブで指導

部活動部員は全員がクラブに加入 顧問と外部指導者が協力して活動

志波姫中学校では、平成10年10月から平成12年12月まで中学校運動部活動研究指定校になり、部活動と地域指導者の連携に関する研究を行っていました。そうしたことから、市町村合併前より外部指導者を導入しており、教育委員会と学校長の連名で委嘱状を交付された地域の方々が運動部活動の指導者となっております。また、この外部指導者はクラブの指導者としても活動しています。

クラブ設立の際には中学校と協議し、運動部活動の部員は、全員クラブに加入することといたしました。そのため、部活動時間を学校管理下の部活動、それ以外の活動時間をスポーツクラブの活動とし、全ての運動部に外部指導者を配置し、顧問とともに指導に当たっております。なお、部活動時間終了後は、クラブの活動になりますが、顧問がそのままクラブの指導者として当たる部活もあれば、指導者に引き継ぐ場合もあります。

部活動指導計画にクラブとの連携を明記

学校体育施設の利用調整もクラブ側が担当

志波姫中学校の部活動指導計画にもクラブとの連携に関する事項が記載(別掲を参照)され、毎年5月の新1年生の部活動が決定した後、中学校、親の会、外部指導者で3者合同会議を開催し、部活動はもちろんのこと、クラブの活動も教育の一環であることを確認しています。さらに、学校体育施設開放の利用調整もクラブで行っています。利用する団体は利用希望の2か月前まで申請書をクラブに提出し、希望が重複した場合は調整会議を開くことで、施設を有効利用しています。中学校運動部活動も同様に、時間で学校管理下の部活動とクラブ管理下の活動とを分けて活動計画をクラブに提出しています。また、学校より体育施設の鍵を貸与されており、夜間や学校休業日に利用する場合は、利用団体がクラブから鍵を借用・返却するシステムをとっています。活動や施設の利用でトラブル等があった場合には、学校と連携をとり、当事者の生徒や保護者、利用者と連絡を取り解決しています。

その他、練習試合や大会に参加する際にはクラブ所有の10人乗りワゴン車を無料で貸し出すとともに、活動に必要なスポーツ用具を毎年提供するとともに、県大会・東北大会・全国大会に出場する際には、校内で開催する決意表明式の際に激励金を贈っています。

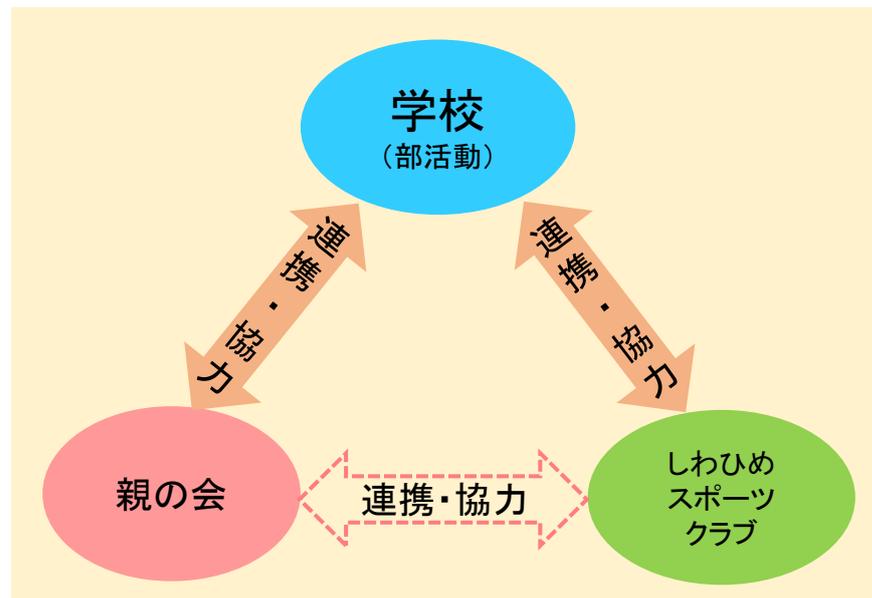
【志波姫中学校の部活動指導計画】(一部を抜粋)

1 目標

- ・しわひめスポーツクラブなど地域連携による活動を推進し、生涯を通じて芸術やスポーツを楽しむ基礎や資質を養う。

2 努力点

- ・普段からあいさつ(返事)、思いやり、感謝ができる生徒の育成を目指し、学校・親の会・しわひめスポーツクラブ等が協力し指導にあたる。
- ・学校、親の会、しわひめスポーツクラブ等との相互連携により支援体制の整備充実を図る。



3 顧問と外部指導者の意思疎通をより緊密に

クラブ設立時から中学校運動部活動と連携して活動しているため、顧問が異動した場合は、新しい顧問にクラブの取り組み内容を説明し、理解を求めています。しかしながら、外部指導者が中心となったことにより顧問と部活・生徒との関わりが希薄となってしまうたり、部活動とクラブ活動の区別を理解していない種目もあり、今後の課題となります。学校とクラブ、顧問と指導者がコミュニケーションを図り、よりよい活動にすることを心がけていきたいと思ひます

学校の垣根を越えたクラブ単位での大会参加が夢

また、中体連の大会に人数が足りないため参加できないケースや、他中学校と合同チームで参加している種目もあります。学校単位の参加ではなく、学校の垣根を越えてクラブ単位でも大会に参加することができるようになればと思います。

さらに、日本スポーツ協会の公認資格保有を指導者の条件とはしていないため、公認資格保有者が少ないのが現状で、この点も今後の検討課題となります。

(しわひめスポーツクラブ クラブマネジャー 相馬 知香)



クラブで貸与しているユニホームを着用して
大会に参加(バレーボール部)

クラブ プロフィール

- 設立年月日** 2004年3月21日
- 所在地** 宮城県栗原市志波姫
- 運営** 会員数474名(令和2年9月現在)、予算規模 9,220万円(令和2年度、指定管理料含む)
- 特徴** しわひめスポーツクラブは、スポーツ少年団、中学校運動部活動、
体育協会構成団体、スポーツ愛好会等が総合型に理解を示し、それぞれ各種
スポーツ教室として活動しています。
- 連絡先** 〒989-5615 宮城県栗原市志波姫沼崎南沖447
栗原市志波姫体育センター内
TEL 0228-23-2711 FAX 0228-23-2711
E-Mail shiwahime-sportsclub@seagreen.ocn.ne.jp



小学生・中学生・高校生と一緒に活動している卓球教室



決意表明式の際に会長から激励の言葉と
激励金を贈っています。



部活動にも貸与しているワゴン車